

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	94	学校名	仙台市立黒松小学校	校長名	麻生 信行
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

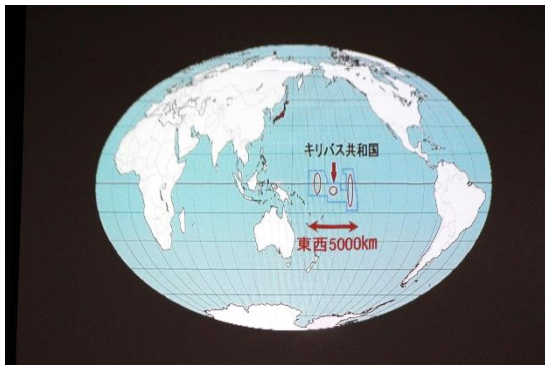
「環境問題 今自分たちにできる身近なことは何か」



2 取組の紹介

①地球温暖化とキリバス共和国の暮らし

ケンタロ・オノさんから、キリバスという美しい海がある国が地球温暖化や気候変動により海底に沈んでしまうかもしれないというお話について、御講演いただきました。オノさんは、日本からキリバス共和国に帰化した方で、海のきれいなキリバスに大きな魅力を感じたそうです。写真を用いてキリバスの現状や「いつか自分が住んでいるところも住めなくなってしまうという恐怖」をありありと伝えていただき、児童はキリバス共和国という遠い国のことを自分事として真剣に聞いていました。



②ごみの分別についての出前授業

仙台市環境局家庭ごみ減量課と環境事務所の方々をお招きし、身近なものの中でリサイクルできるものは何か、そしてそれは何にリサイクルできるのかについて教えていただきました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

①地球温暖化とキリバス共和国の暮らし

講演を聞いた後、児童は実際に地球温暖化を止めるために今自分たちにできることは何か考えたり、実際に家で考えたことに取り組んでみたりしました。また、自宅の電化製品を使用しないとどのくらいの電力が節約できるのか、簡単に計算できるプログラムを教えていただいたことで、自分の生活の中で使っているエネルギーについて考えるきっかけが生まれました。

②ごみの分別についての出前授業

児童は、ハンガーや家電など身の回りの物を実際に分別しながら、資源とは何か、なぜ大切にしなければならないのかについて考えました。また、リサイクルにもお金がかかっていたことを知り、そもそもごみを出さないことやいらないものを買わないことも同じように大切なのだということを学びました。